

(一社)日本家政学会 家政教育部会

2023年度 第1回セミナーのご案内

まちづくりと家政教育を繋げる視点

講演・シンポジウム

Zoomによるオンラインと対面開催

日時:2023年8月23日(水) 16:00-18:00

場所:大妻女子大学(千代田校 大学校舎A棟650教室)

対象:日本家政学会のメンバー

【趣旨】

家政教育部会が取り組んでいる、家政学会の家庭生活アドバイザーの活動のためのサポート研究に資するために、ドイツ(ライプツィヒ)と日本(尾道)で空き地・空き家を生かしたまちづくりに取り組んでいる大谷悠氏の講演会と、その後のミニシンポジウムを開催する。

いかにニーズをつかみ、我々の専門を生かして形にしていけるのか、事例を聞きながら地域に根差した発信活動を行うためのフットワークの在り方を検討する。

大谷氏の専門は、空き家を活用したまちづくり拠点の創設・改修・管理・運営、社会・文化活動の基盤としての都市の空き家・空き地の空間的可能性等であり、活動の際に、食で人々を繋いでいる。

子どもを主体としたドイツの「遊びの都市」の研究をしている部会員の花輪由樹氏、そして福山市で行政と繋がって講座を行っている正保正恵氏も含め家政学の地域での活かし方についてのミニシンポも行う。

上記講演とシンポジウムに先立ち部会総会と冊子編集状況の報告を行います。

15:00~15:30

総会

15:30~15:55

冊子編集進捗状況の報告と質疑応答

申込み

<https://forms.gle/D35BHkkQeLjsvvA36>



参加費

無料

締切り

2023年8月21日(月)

講演・シンポジウムスケジュール詳細

16:00-17:15 大谷先生講演

「空き家・空き地からまちをつくる

ードイツ・ライプツィヒと尾道における試行錯誤の現場から」

17:15-17:45 ミニシンポジウム

「まちづくりと家政教育の接点の点検」

17:45-18:00 質疑応答

講師紹介

大谷 悠 氏 (まちづくり活動家・福山市立大学講師)

2011年ドイツ・ライプツィヒの空き家にてNPO「日本の家」を設立, 以来様々なまちづくり・アートプロジェクトの企画運営を行う。2019年より尾道に在住, 山手の空き家を「迷宮堂」と名づけ, 人々のかかわり合いの場にしようと活動中。

主な著書『都市の〈隙間〉からまちをつくらう』(学芸出版, 2020年) など



花輪由樹 氏 (金沢大学 准教授)

子どもが地域づくり・まちづくりに関わるのが, 生活者として生きる上でいかに重要であるかを探っている。



正保正恵 氏 (福山市立大学 教授)

家政教育部会役員として, 家庭生活アドバイザー資格制度の設立にかかわり, 現在も側面から家政学の社会貢献としての家政教育の在り方を考えている。

